

| | | | | | |
|------|---|------|-----|----------|-------------|
| 科目名 | ケア技術開発特論 (Advanced Study on Development of Nursing Care) | | | 科目コード | M202 |
| 選択区分 | 選択 | 履修時期 | 1 後 | 単位数 (時間) | 1 単位 (15時間) |
| 担当教員 | 岡田 ルリ子・宮腰 由紀子* | | | 関連DP | 看②③⑤ |
| 授業概要 | 看護におけるケア技術の定義、構成要素、科学的検証方法、提供システム、開発と国際基準について教授する。その後、ケア技術開発に関する文献のクリティーク、および自己の職域で用いる頻度の高いケア技術の課題と解決策のレポートを通して、ケア技術開発のための課題について考察する。 | | | | |
| 授業目標 | <p>科学的に検証された、確かな看護ケア技術開発の重要性を理解し、その現状と開発のための課題を明らかにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護におけるケア技術の定義、構成要素、科学的検証方法、提供システム、開発と国際基準についてグループで議論する。 2. ケア技術開発に関する国内外の研究成果をクリティークする。 3. 自分の職域で用いる頻度の高いケア技術の課題と解決策をレポートする。 4. 以上を通して、ケア技術開発のための課題について考察する。 | | | | |

授業内容とスケジュール

| 回 | 項目 | 内 容 | 担当者 |
|---------------|-----------------|---|-------|
| 1 | 看護のケア技術と科学的検証 | 看護が提供するケア技術の概念とその変遷 | 宮腰由紀子 |
| 2 | | 看護のケア技術の構成要素と科学的検証 グループ討議① | |
| 3 | | 看護のケア技術の提供システム グループ討議② | |
| 4 | | 看護のケア技術の開発と国際基準 グループ討議③ | |
| 5 | 看護のケア技術開発に向けた課題 | 看護のケア技術開発のプロセス | 岡田ルリ子 |
| 6 | | ケア技術開発に関する研究成果のクリティーク 個人ワーク①：文献検討 | |
| 7 | | 自分の職域で用いる頻度の高いケア技術の課題と解決策 個人ワーク②：レポート作成・発表 | |
| 8 | | 看護のケア技術開発に向けた課題 グループ討議④ | |
| 成績評価方法 | | 前半課題レポート 50%、後半課題レポート 50%で評価する。 | |
| 必携あるいは参考図書・文献 | | 参考図書 深井喜代子編集：ケア技術のエビデンスⅢ，へるす出版，2015. | |
| 授業時間外の学習について | | 文献検索、クリティーク、レポート作成を主体的に行う。 | |
| 関連科目 | | | |
| 備考 | | | |